

デジタルオーディオミキサーのSQシリーズ用のファームウェア追加機能のリリースです。

**注意** 以下については、Allen&HeathのWebサイト[www.allen-heath.com](http://www.allen-heath.com)を参照してください。

- SQシリーズ製品の最新情報
- Allen & Heathサポートナレッジベース

**注意** ファームウェアファイルは、\*.bin ファイルとしてこのアーカイブに含まれています。更新するSQモデルの正しいファイルがあることを確認してください。

ファイル:           **SQ-5** = SQ-5UPG\_1\_5\_0r3883.bin

**SQ-6** = SQ-6UPG\_1\_5\_0r3883.bin

**SQ-7** = SQ-7UPG\_1\_5\_0r3883.bin

**注意** SQミキサーフォーマットユーティリティを使用してUSBデバイスをフォーマットします。すべてのUSBデバイスがSQミキサーと互換性があるわけではありません。SQミキサーをフォーマットし、正しく動作することを確認してからSQミキサー専用のデバイスを使用してください。

**注意** SQ-Driveオーディオ録音およびマルチトラック再生では、高い持続転送レートをサポートするUSBストレージデバイスが必要です。すべてのUSBデバイスが完璧なパフォーマンスを保証するわけではありません。最適な結果を得るには、USBスティックドライブではなく、外付けHDDまたはSSDを使用することをお勧めします。

**注意** USBストリーミングは、Mac/Windows PCと互換性があります。SQはCore Audioに準拠しており、macOS 10.12 (Sierra)以降で動作します。Windowsで使用する前に、Windows ASIO™/WDMドライバーをインストールする必要があります。最新のSQ Windowsドライバーとインストールガイドについては、[www.allen-heath.com](http://www.allen-heath.com)を参照してください。

**注意** ファームウェアV1.2.0では、SQのオプションの追加機能が導入されました。ファームウェアV1.1.0に含まれる「チューブステージ」プリアンプは、SQユニットを登録し、[shop.allen-heath.com](http://shop.allen-heath.com)から一意のキーを取得して、SQユニットに追加する必要があります。詳細については、Webサイトおよびリファレンスガイドを参照してください。

**注意** オプションの追加プロセッシングを表す用語は、ファームウェアV1.3.1で「Upgrade: アップグレード」から「Add-Ons: アドオン」に変更されました。

**注意** パッチおよび保存されたファイルの構造の変更により、V 1.0 .0で作成されたシーンおよびショーは、以降のファームウェアリリースと互換性がありません。SQファームウェアをV1.0.0からアップデートすると、現在のすべての設定がリセットされ、既存のすべての保存データ（シーン/ショー/ライブラリー）は互換性がなくなります。これは、後続のバージョンのファームウェアから更新する場合には当てはまりません。

**注意** V 1.3の時点では、SQ-MixPadとSQ4Youアプリは64ビットのみです。古い32ビットのデバイスでSQをワイヤレス制御する場合は、ファームウェアをV 1.2 .2以降にアップデートしないでください。

## V1.5.0

### 追加機能:

利用可能な新しいadd-ons: Bucket Brigade Delay、Echo、Hypabass

PEQおよびGEQに「チャンネルRTA」を追加

48 kHz USBオプション(USB-BおよびSQドライブ)

SQ-Driveとの間で最大32チャンネルの録音/再生が可能

パッチされたチャンネルのみをSQ-Driveに録音

USBメータースクリーン

「スピルオンセル」オプションを含むDCAスパイル機能

グローバルおよびシーンリコールフィルター用の追加DCAオプション

PEQのHPF/LPFオプション

入力チャンネルのHPFスロープオプション

「セーフ」パッチスイッチオプション

I/O画面での1対1ブロックパッチ

チャンネルディレイをミリセカンド、サンプル、メーター、またはフィート単位で表示（空気温度可変）

チャンネルディレイの高解像度制御

「FX スクリーン・フォロワー・セル」オプション

Current Mix/DCA Spillの画面表示

NRPNフェーダーローの「Audio Taper」オプション

自動ネットワークIPアドレスの割り当て

V2 Danteオプションカードのサポート

SQ-MixPadの追加 - RTAサポート、3インスタンス、新しいルーティング画面、オンラインAMMコントロール、オンラインインサートセットアップ、オンラインシーン管理、パッチセーフ、オフラインシーンおよびライブラリ管理、オフライン「シェア」機能、「URLフック」追加

新しいソフトコントロールの追加 - DCAスパイル(ソフトキー、ロータリーキー、フットスイッチ)、SQ-Drive Aem/Rec / Stop、FXミュート(ロータリーキー)

## 改善点:

- ID-1577: 新しいフィルターを含むDe-Esser add-onの更新
- ID-1546: パッチ可能なトークバック出力 (ポスト「Talk」キー)
- ID-1497: ファクトリーライブラリーに追加されるデフォルト名
- ID-1696: ソフトコントロールオプションの一覧をアルファベット順に表示
- ID-1033: SQ-Drive - 録音されたチャンネル名をファイルメタデータに保存
- ID-1011: I/O画面での使用済みソケットの表示
- ID-1394: I/O画面 - ローカルAES出力ソケット制御の有効化
- ID-954: L-C-Rの切り替えにパンコントロールリセットキーを使用
- ID-1758: 「Next Scene:」はmixコンフィグの変更 に関係なく持続
- ID-1675: SQ-Drive - 「シングル再生」後も現在のトラック選択を維持
- ID-1655: ミュート設定されたソフトロータリーキーはミュートグループ/DCAのミュートを表示
- ID-1654: FXパラメーターに設定されたソフトロータリーは使用可能な場合に正しく点灯
- ID-1564: MEIにパッチされたタイラインに識別子が含まれる
- ID-1498: ロールリセットに含まれるPAFLおよびトークバックの設定
- ID-1550: DynEQ/MultiBD - 非表示パラメータを制御する機能を削除
- ID-1527: Mixer Configの変更で破棄される保留中のGang変更
- SQ4You-190: チャンネルがミュートされているときにグループホイールインジケータの追加
- SQ4You-192: ミュート中にチャンネルをコントロールが可能

## 修正された問題:

- ID-1749: CHからすべてのミックスで削除された未使用のFXセンド
- ID-1661: USB-Bモードがアクティブな場合、SoftKey SQ-Driveコントロールが無効になる
- ID-1620: 0x7Fに等しいMSB / LSBを使用するMIDI NRPNは正しく応答する
- ID-1569: USBのシーン削除ポップアップに間違った名前が表示されることがある
- ID-1555: SQ-MixPadの「Push」を使用すると、「Add-on unavailable」というポップアップが正しく表示される
- ID-1535: SLinkオプションカードが初期起動時に「I/O card fitted」のアイコンが正しく表示される
- ID-1595: シャットダウン時に一時停止すると、SQ-Driveが再生されることがある
- ID-1563: チャンネルライブラリーリコール後、I/O画面でのチャンネル名を正す
- ID-710: 再生ファイルを変更すると、録音時にオーディオアーティファクトが生成される場合がある

#### 既知の問題点 – SQ-Drive:

マルチトラックまたはステレオ録音中に電源が切れたり、デバイスを取り外したりすると、現在の録音が失われることがあります。

#### 既知の問題点 – USB-B経由で接続中のファームウェアアップデート:

USB-B経由で接続すると、SQがUSBデバイスからファームウェアを正しくインストールできないことがあります。アップデートを行う前にUSBケーブルを外してください。

#### 既知の問題点 – ファームウェアアップデートが両方のイメージにインストールされない:

SQには、安定性と冗長性を確保するためのメインイメージとバックアップイメージがあります。アップデートが実行され、SQが古いファームウェアで起動する場合は、アップデートを再度実行して、両方のイメージが同じバージョンで動作していることを確認する必要があります。

#### 既知の問題点 – 使用できないadd-onを読み込もうとするとオーディオが転送されない:

インストールされているファームウェアで利用できないアドオンを使用するショーを読み込むと、プロセッシングユニットが読み込まれますが、プロセッシングがスイッチアウトされるまでオーディオは転送されません。これは、新しいファームウェアに保存されたショーが、古いファームウェアを実行しているSQに読み込まれた場合に発生する可能性があります。

#### 既知の問題点 – Mixer Config変更時にMixPadとの同期が正しく行われぬ:

ミキサーでMixer Configを調整すると、アプリケーションを切断して再接続するまで、SQ-MixPadのI/O Patch画面に問題が発生します。このため、SQ-MixPadは、ミキサーでMixer Config設定を適用した後にのみ接続してください。

#### 既知の問題点 – PC/Macでの更新時に、読み込まれたMixPadのオフラインショーがコピーされない:

PCまたはMacでSQ MixPadアプリケーションをアップデートする場合、オフラインモードで読み込まれたショーは自動的に新しいバージョンにコピーされません。最善の方法は、更新する前に読み込まれているショーを保存し、新しいバージョンのMixPadをインストールして、古いバージョンをアンインストールする前に作業中のショーをリコールすることです。

#### 既知の問題点 – Dante V2 オプションカード:

「Hot plugging」(SQの電源が入っている状態での取り外しや取り付け)またはDante V2オプションカードの再起動により、DTユニットのプリアンプとの通信が失われる可能性があります。したがって、正しい動作を保証するために、残りのDanteネットワークを接続する前に、オプションカードをインストールしてセットアップすることをお勧めします。